



狂った一頁

Festival de l'Intemporel

野平一郎プロデュース
フェスティヴァル・ランタンポレル

舞台芸術創造事業

IRCAM シネマ「狂った一頁」

～ポンピドゥー・センターと歴史的無声映画のコラボレーション～

IRCAM Cinema *Une page folle*

— The Collaboration of Centre Pompidou and Silent Era Films

2024年 11月29日(金)

15:00 開演 (14:30開場) <上映時間70分>

19:00 開演 (18:30開場) <上映時間70分>

★17:30からトークイベントを行います。各回のチケットをお持ちの方が入場可能です。

東京文化会館 小ホール

上映映画: 「狂った一頁」(1926年)

監督: 衣笠貞之助

原作: 川端康成

脚本: 川端康成、衣笠貞之助、犬塚 稔、沢田暁紅

作曲: 平野真由 (2021年 IRCAM、ポンピドゥー・センター委嘱作品)

コンピュータ・ミュージック・デザイン (IRCAM): ディオニシオス・パバニコラウ

制作: IRCAM、ポンピドゥー・センター (2021)

※フィルムはポンピドゥー・センター日本友の会より寄贈

サウンド・エンジニア: 片桐健順

トークイベント出演

平野真由 (作曲家)

モデレーター: 沼野雄司 (音楽学者)

Nov 29 (Fri) 2024

15:00 (Open 14:30) / 19:00 (Open 18:30)

Running time: 70 minutes

* A panel (only in Japanese) will take place at 17:30.

Those who purchased the film admission ticket for one of either slot can attend the panel.

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

Film to be screened: *Une page folle* (1926)

Directed by: KINUGASA Teinosuke

Original Story: KAWABATA Yasunari

Screenplay: KAWABATA Yasunari, KINUGASA Teinosuke,
INUZUKA Minoru, SAWADA Banko

Music: HIRANO Mayu (IRCAM and Centre Pompidou Commission, 2021)

Computer Music Design (IRCAM): Dionysios PAPANICOLAOU

Sound Engineer: KATAGIRI Takenori

Panelists

HIRANO Mayu (Composer)

Moderator: NUMANO Yuji (Musicologist)





IRCAMシネマ「狂った一頁」

～ポンピドゥー・センターと歴史的無声映画のコラボレーション～

IRCAM Cinema *Une page folle*

—The Collaboration of Centre Pompidou and Silent Era Films

衣笠貞之助監督による幻の無声映画「狂った一頁」(1926年)を、世界最高峰の音響音楽研究施設 IRCAM (イルカム)において作曲家平野真由がクリエイションした電子音楽とともに上映します。



平野真由 (作曲) HIRANO Mayu, Music

1979年横浜生まれ。感覚知覚、聴覚的記憶、認知心理学と認知の限界という視点を持ち作曲する。北鎌倉女子学園中学高等学校音楽学部ヴァイオリン科、東京藝術大学を経て2003年同大学音楽学部楽理専攻修了。2013年CRR deBoulogne-Billancourt一等賞修了、サセム作曲賞受賞。2014-15年IRCAM(フランス国立音響研究所)研究員。2018年Radio FranceのCréation Mondialeの委嘱作品 ToucherがJean-Marie Cottetに演奏され、Hughes DufourによりGérard Griseyの後を引き継ぐ若い作曲家の一人として紹介され、その形式と時間感覚のオリジナリティーが高く評価される。Radio France、Ensemble Intercontemporain、IRCAM、ポンピドゥーセンター国立近代美術館の委嘱作品、数多くの主要音楽祭等で作品が初演/再演される。各国のラジオによる放送も多い。電子音響やライブエレクトロニクス作品のほか、映像や特殊な空間配置を伴ったものや伝統的技法のものまで、作品は多彩。

上映に寄せて

『狂った一頁』では、画面と客席が庭屋一如的に境界のない空間を構想し、ステージやピットに演奏家のいない音楽を書きました。画面の空間を拡げることににより観賞者の位置する空間との境界線を曖昧にしたかったのです。

こうした考えの背景には、自分は作曲家であると同時に「空間の彫刻家」でもあるという意識があります。100年前の日本でこれほど先進的な映画が作られていたことを世界中の人にもっと知ってもらいたいというのも、この作品に電子音楽を選択した理由のひとつです。この映画はカットニングの展開が速く、とても情報量の多い作品です。私はそうした映像に単に追従する音楽を書くのではなく、あえてタイミングをずらしたりしながら、映像からPulsion(欲動)を彫り起こし、音として空間に浮かび上がらせることを目指しました。現代の映画とは違って言葉はありませんが、映像と音楽が結びついて作られていく、非日常の空気に全身を委ねて楽しんでいただけたら嬉しいです。

—— 平野真由

『狂った一頁』 成立の経緯とその魅力

衣笠貞之助監督率いる新感覚派映画聯盟により製作された日本初のアヴァンギャルド映画『狂った一頁』(1926年、無声・無字幕)は、フランス印象主義やドイツ表現主義映画に挑戦した実験作である。火災で焼失したと思われていたフィルムが発見により、1971年から国内外で再上映されて以来、世界的に評価が高まった。衣笠は精神病院を見学して人間の狂気をモチーフにしたドラマを構想し、前衛運動を繰り広げる新感覚派の作家たちに横光利一を通じて話を持ちかける。川端康成がひとまず未完のシナリオを書き、衣笠・犬塚稔・澤田晩紅らと共同でシナリオを完成させた。名優井上正夫演じる主人公の元船員は、自分が原因で精神を病んだ妻が入院する病院で小使いとして働き、そこに結婚を控えた娘が訪ねてくるという話を骨格に展開する。短いショットの連続や多重露光、オーバーラップ、フラッシュバック等の技術を駆使し、病棟の鉄格子の内と外(狂気と正気)、過去と現在、現実と幻想の交錯が映像で綴られる。近年、無声映画の弁士解説・演奏付き上映が国内外で人気を集める。プロの弁士のみならず、声優や俳優が語り、多様なジャンルの音楽が付けられるもいる。優れたサイレント映画は多様なアダプテーションに耐えうる順応性を持ち、時代の変化を吸収しながら新たな作品として現代に甦る。『狂った一頁』はその筆頭に挙げられる作品である。

—— 福田淳子(昭和女子大学大学院 生活機構研究科 教授)

IRCAM (イルカム/フランス国立音響音楽研究所) とは

パリにある総合文化施設、ポンピドゥー・センターの関連組織として1977年に設立された、音楽表現と科学研究に特化した世界最大級の公的研究機関。当時の仏大統領ジョルジュ・ポンピドゥーに招かれたピエール・ブーレーズによって創設された。その活動は、音響技術・情報処理に関わる研究や、テクノロジーを活用した音楽・映像制作、またアーティストによる創作活動の教育・支援、発表機会の提供など多岐にわたっている。



野平一郎プロデュース フェスティバル・ランタンボレル Festival de l'Intemporel ~時代を超える音楽~について



東京文化会館は、現代と古典の音楽がクロスオーバーする新しいプロジェクト「フェスティバル・ランタンボレル」を立ち上げます。当館音楽監督・野平一郎(作曲家・ピアニスト)プロデュースのもと、レ・ヴォルク音楽祭(フランス・ニーム)やIRCAM(フランス・パリ)と連携し、11月27日(水)~12月1日(日)にかけて開催します。今年は、ベートーヴェン&フィリップ・マヌリ、シュベルト&ヘルムート・ラッペンマンという組み合わせで、現代と古典の4名の作曲家にフォーカスします。コンサートやマスタークラス、レクチャー、そして無声映画と電子音楽のコラボレーションなど、時代を超越した多彩なプログラムを存分にお楽しみください。

〈発売日〉7月27日(土)

フェスティバル・セット券: 7月20日(土)

自由 1,100円

フェスティバル・セット券 一般16,500円 25歳以下5,500円

※ フェスティバル・ランタンボレルの6公演にご入りいただけます。
※ セット券は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。

General Admission 1,100yen

Festival de l'Intemporel Package: Regular 16,500yen

Under-26s 5,500yen

* The festival package is only available at the Tokyo Bunka Kaikan Box Office.

On sale date Sat, Jul 27, 2024

Festival Package: Sat, Jul 20, 2024

〈チケットのお申込み〉BOX Office

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 t-bunka.jp

Tokyo Bunka Kaikan Box Office (Available in English)

チケットぴあ t.pia.jp

イープラス eplus.jp/t-bunka/

※ やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

※ 未就学児の入場はご遠慮ください。

※ 託児サービス(要予約・有料・定員あり・11/22(金)17時締切)があります。

イベント託児・マザーズ: 0120-788-222



- JR上野駅公園口より徒歩1分 ● 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分

主催: 公益財団法人東京歴史文化財団 東京文化会館

後援: 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

公益財団法人日仏会館

協力: l'Intemporel (ランタンボレル)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 笹川日仏財団

東京文化会館オフィシャル・プラチナパートナー:

五野精養軒 長谷グループ フジメディアホールディングス

東京文化会館オフィシャル・ゴールドパートナー: 朝日信用金庫 株式会社ブルボン

企画制作: 東京文化会館 事業係 @t_bunka_official